

ご案内
報道関係各位

2015年12月8日
株式会社KADOKAWA

エンタメ業界の最前線を走る男が明かす
明日役立つ仕事のメソッド

面白ければなんでもあり
発行累計6000万部——とある編集の仕事目録

著者／三木一馬 カバーイラスト／abec

2015年12月10日 発売

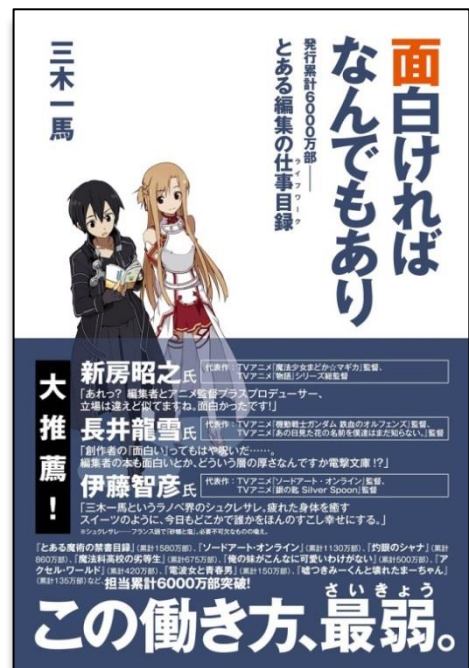
株式会社KADOKAWA(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:松原真樹)では、エンターテインメントの世界で数々のヒット作を生み出し、「電撃文庫」「電撃文庫MAGAZINE」編集長を務める三木一馬の著書『面白ければなんでもあり 発行累計6000万部——とある編集の仕事目録(ライフワーク)』を、2015年12月10日(木)より全国書店およびインターネット書店にて発売いたします。

出版不況が叫ばれる昨今、アニメ調のイラストを表紙や挿画に用いた10代の中学～高校生をメインターゲットとした「ライトノベル」という小説ジャンルは活況を呈しています。本書は、その「ライトノベル」ジャンルでNo.1レーベルと言われる「電撃文庫」のヒットメーカー・三木一馬が、自身の思考法や仕事術のほか、自ら手掛けた大ヒット作品のエピソードなどを初めて明かす一冊です。

『とある魔術の禁書目録』(累計1580万部)、『ソードアート・オンライン』(全世界累計1670万部)、『灼眼のシャナ』(累計860万部)、『魔法科高校の劣等生』(累計675万部)、『俺の妹がこんなに可愛いわけがない』(累計500万部)——三木一馬が担当編集を務めた作品は約500冊、その累計部数は6000万部を超えています。

「どうしてこの作品は面白いのか」「なぜ作品はヒットするのか」「担当作が売れなかったときの向き合い方」をはじめ、「失敗した仕事への取り組み方」「激務にどう向き合い、考え方を変えるか」に至るまで、本書には“面白ければなんでもあり”を元にした、発想が広がる仕事術がぎっしり詰まっています。

エンタメ業界の最前線を走る三木一馬の初の著書『面白ければなんでもあり 発行累計6000万部——とある編集の仕事目録(ライフワーク)』に、ぜひご注目ください。



■ 『面白ければなんでもあり 発行累計6000万部——とある編集の仕事目録』 概要

- 【書名】面白ければなんでもあり 発行累計6000万部——とある編集の仕事目録 (ライフワーク)
- 【著者】三木一馬 【カバーイラスト】 abec
- 【仕様】四六判・ソフトカバー 【ページ数】296ページ 【定価】本体1,200円+税
- 【発売日】2015年12月10日(木) 【発行】株式会社KADOKAWA
- 【内容】第一線で活躍する編集者は何を考え、どう動いているのか？
今すぐ使える仕事のルールと思考法がわかる一冊。
- 【特設サイトURL】 <http://amwbooks.asciimw.jp/sp/nandemo/>

■本書はこんな方にオススメです

- エンタメ業界に興味がある／働きたい
- 編集者が何を考えているかが知りたい
- 今ひとつ自分の仕事に自信が持てない
- やる気はあるのに、何をしたらいいかわからない
- 面白い作品が作りたいが、煮詰まっている
- 作家やクリエイターになりたい
- ラノベやアニメが好きで、その裏話が知りたい

■著者プロフィール



三木一馬 (みき・かずま)

株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス事業局 電撃文庫編集部編集長、電撃文庫MAGAZINE編集部編集長。《電撃小説大賞》最終選考委員。2000年に上智大学工学部を卒業後、メディアワークス入社。2001年、電撃文庫編集部配属される。そこで、『とある魔術の禁書目録(インデックス)』(累計1580万部)、『とある科学の超電磁砲(レールガン)』(電撃コミックス。累計680万部)、『ソードアート・オンライン』(全世界累計1670万部)、『灼眼のシャナ』(累計860万部)、『魔法科高校の劣等生』(累計675万部)、『俺の妹がこんなに可愛いわけがない』(累計500万部)、『アクセル・ワールド』(累計435万部)、『電波女と青春男』(累計150万部)、『嘘つきみーくんと壊れたまーちゃん』(累計135万部)、『しにがみのバラッド。』(累計130万部)、『撲殺天使ドクロちゃん』(累計110万部)など、ベストセラー小説シリーズの企画・編集を多数担当する。今まで担当編集を務めた作品は約500冊におよび、累計部数は6000万部を突破している。

<主な担当作品>

『とある魔術の禁書目録』シリーズ(著/鎌池和馬、イラスト/はいむらきよたか)、『ソードアート・オンライン』シリーズ(著/川原 礫、イラスト/abec)、『アクセル・ワールド』(著/川原 礫、イラスト/HIMA)、『灼眼のシャナ』(著/高橋弥一郎、イラスト/いとうのいぢ)、『俺の妹がこんなに可愛いわけがない』(著/伏見つかさ、イラスト/かんざきひろ)、『魔法科高校の劣等生』(著/佐島 勤、イラスト/石田可奈)、『嘘つきみーくんと壊れたまーちゃん』(著/入間人間、イラスト/左)、『電波女と青春男』(著/入間人間、イラスト/ブリキ)、『撲殺天使ドクロちゃん』(著/おかゆまさき、イラスト/とりしも)、『しにがみのバラッド。』(著/ハセガワケイスケ、イラスト/七草) ほか多数。

■『面白ければなんでもあり 発行累計6000万部——とある編集の仕事目録』^{ライフワーク} 目次抜粋

《はじめに》

- ・電撃文庫は『面白ければなんでもあり』がコンセプト
- ・創作物に、面白くない作品はひとつもない …など

《第一章 読者に媚びない作品は格好悪い ～たくらむ(企画術)～》

- ・五〇〇万部突破作品『俺の妹がこんなに可愛いわけがない』が生まれたきっかけ
- ・自分の『やりたいこと』を、作品の『家訓』にする …など

《第二章 『とある魔術の禁書目録』御坂美琴はなぜ短パンを穿いているのか ～つくる(創作術)～》

- ・外見と内面にギャップをつける
- ・ストーリーをつくるとは、自分がこれから登る山の『登山ルート』を決めるようなもの …など

《第三章 とあるラノベ編集の仕事目録 編集者になるまで編》

- ・遊びから学んだ『自分が一番楽をするための予定』
- ・一作目は絶対失敗しろ！ …など

《第四章 『売れる』と『売れない』はココが違う ～編み出す(編集術)～》

- ・売れる作品は、『演出』が違う
- ・読者の善意に甘えるな …など

《第五章 イラストは化学反応を起こすための起爆剤

～彩る(イラスト選定術)、魅せる(コピーライティング術)～》

- ・イラストレーターの条件、それは『ラノベ未経験』
- ・タイトルはとにかくネタ出し！ネタ出し！ …など

《第六章 とあるラノベ編集の仕事目録 編集者になってから編》

- ・本当は地味な小説の編集者という仕事
- ・自分を支えてくれたのは、読者の応援パワー …など

《第七章 メディアミックスとは「知る機会」を持ってもらうこと ～広げる(メディアミックス術)～》

- ・本は、店頭で並ぶ前から勝負は決まっている
- ・成功するメディアミックスは、『空気を読む』こと …など

《第八章 創り手は、『静かなるBUYサイン』を信じて進め ～心構え術～》

- ・他の編集者との違いはたった一つ
- ・自分の「楽しい！」を仕事にすること …など

《おわりに》

<ご参考>

■「電撃文庫」とは

1993年6月創刊の文庫レーベル。「電撃文庫」ではこれまで、ファンタジー、SF、ミステリー、ホラー、ラブコメなど、ジャンルを問わないオリジナルなエンターテインメント作品を刊行してまいりました。『とある魔術の禁書目録』シリーズをはじめ、『灼眼のシャナ』、『キノの旅』、『俺の妹がこんなに可愛いわけがない』、『アクセル・ワールド』、『ソードアート・オンライン』、『はたらく魔王さま！』、『魔法科高校の劣等生』など、数多くの大人気シリーズを生み出しています。2015年は『デュラララ!!』のTVアニメ第2期[承]編が1月より、[転]編が7月より放送され、10月より『ヘヴィーオブジェクト』のTVアニメ放送も開始しました。2016年は1月よりTVアニメ『デュラララ!!』[結]編がスタートするほか、『ネトゲの嫁は女の子じゃないと思った?』、『ねじ巻き精霊戦記 天鏡のアルデラミン』のTVアニメ化も決定しております。現在活躍中の人気作家の多くは、創刊と同年にスタートした作家・イラストレーターなどの新人登竜門「電撃大賞」より誕生しています。アニメ、コミック、実写映画、ゲーム、音楽、イベントなど、さまざまなメディアミックスも展開。2015年10月にはファンクラブサービス「電撃文庫CLUB」もスタートし、「電撃文庫」は幅広い層の方々に楽しんでいただいております。毎月10日発売。

●電撃文庫公式サイト: <http://dengekibunko.jp/>

●電撃文庫公式Twitter: @bunko_dengeki

■「電撃文庫MAGAZINE」とは

2008年4月創刊、「電撃文庫ファンのための最強エンタテインメントマガジン」。電撃文庫の人気シリーズやアニメ化が決定した作品の情報、人気シリーズの書き下ろし短編小説などを掲載し、電撃文庫を一層楽しむためのさまざまな企画が詰まった雑誌です。フィギュア、ドラマCD、ポスター、ステーションナリーなど、毎号付く豪華オリジナル付録も人気となっています。偶数月10日発売。

●電撃文庫MAGAZINE公式サイト: <http://dengekibunko.jp/magazine/>

以上

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】
株式会社KADOKAWA
アスキー・メディアワークス
<http://asciimw.jp/>